

神戸大学ヨット部 News Letter



目次

- ・関西学生ヨット夏季選手権大会結果報告
- ・夏季インの所感
- ・日本学生女子ヨット選手権大会結果報告
- ・全女の所感

はじめに

お世話になっております。4回生・広報の西山です。

秋冷の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は関西学生ヨット夏季選手権大会、全日本学生女子ヨット選手権大会の結果報告・所感を掲載しております。

葉山で開催された全日本女子イン彼では、多くのOBOGの皆様にお越しいただき、練習からレースまで温かいご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

夏季イン・全女を通じて得た経験を糧に、関西インカレでは両クラスそろっての全日本出場を目指してまいります。引き続き、熱いご声援のほどよろしくお願いいたします。

関西学生ヨット夏季選手権大会結果報告

470級（全33艇）7R実施

15チーム中2位 190点

3位4815 市川④池田②42点

8位4801 続③太田③76点

19位4741 酒井③近藤②下山③124点

スナイプ（全30艇）7R実施

15チーム中5位 224点

1位31493 大島③川瀬④29点

16位31367 寺岡④池谷②105点

22位31730 浅井③岩田③143点

総合成績3位 神戸大学 414点

詳しい成績は、こちらのサイトからご確認ください。→ [夏季イン結果](#)

夏季インの所感



3回生/スナイクスキッパー大島尚也

お世話になっております。

3回生スナイクスキッパーの大島尚也です。

夏季インカレには個人成績5位という目標で臨みました。

結果は個人成績で1位となり、夏練の成果を感じました。

ボートスピードが他艇に比べて速く、安定して上位でゴールすることができました。

課題としてはスタートの成功率が低いこととコース引きのリスク管理が挙げられます。関西インカレは北風が多く、今回の南風に比べてその点がより重要になってくるためしっかり改善して関西インカレに臨みたいです。

夏季インの所感



3回生/470スキッパー酒井英佑

お世話になっております。

3回生470級スキッパーの酒井英佑です。

9月14日・15日に行われた関西学生ヨット夏季選手権大会に出場し、470級は関西水域で2位という結果となりました。

今大会は、10月3日～5日に開催される関西学生ヨット選手権大会を想定した配艇およびレスキュー体制で行われ、本番さながらの緊張感の中でのレースとなりました。

今回のレースを通じて、切り替えの大切さを改めて強く実感しました。初日の第1レースでプロテストをかけられたことにより調子を崩し、その日は納得のいく結果を残すことができませんでした。しかし、翌日も同様の風が吹く中で、前を走ることはできなかったものの、安定した順位を取ることができました。その要因として最も大きかったのは、気持ちを切り替えることができたことだと思います。切り替えができたからこそ、冷静に周囲を見渡し、前の1艇・後ろの1艇にまで気を配ることができました。

関西インカレでは、この切り替えの早さが前を走ること、そして安定した順位につながると考えています。3番艇として、自分が何をすれば突破に繋がるのかを常に考えながらヨットに乗り、11月に江ノ島に行けるように努めていきたいと思っています。

夏季インの所感

3回生/マネージャー 吉川凜



お世話になっております。

3回生マネージャーの吉川凜です。

私はこの夏練からマネージャーとして活動することになり、この夏季インカレがマネージャー転向してから初めての大会となりました。

初めてのポジションで不慣れな点も多い中での2日間でした。

プレーヤーを支える立場に回ること、これまで気づけなかったチーム運営の大切さや、細やかなサポートの重要性を学ぶことができました。

今回の経験を今後に活かし、チームの一員としてより成長できるよう努力してまいります。

夏季インの所感

1回生/マネージャー 石坂瑚菜



お世話になっております。

1回生マネージャーの石坂瑚菜です。

今大会では、陸上でのSNS投稿やエクセル資料の作成に取り組みました。

これまでの大会は個人戦が中心でしたが、今回は団体戦ということで、エクセルの作成方法もこれまでとは異なり、慣れない作業に苦労しました。

また、SNS投稿と並行して業務を進める中で、限られた時間の中で優先順位を判断し、効率よく作業を進める先輩方の姿に、改めてその偉大さを感じました。

今後は、一日でも早くマネージャーの業務に慣れ、先輩方のように周囲の状況をよく見て自分から行動できるよう、精一杯努力してまいります。

日本学生女子ヨット選手権大会結果報告

詳しい成績は、こちらのサイトからご確認ください。→ [全女470級結果](#)

470級（全42艇） 32位 4623 近藤（2）/池田（2） 210 点



全女の所感

2回生/470スキッパー近藤優芽



お世話になっております。

2回生470スキッパーの近藤優芽と申します。

今回の全日本女子インカレでは、遠征の計画や準備から自分達で行い、苦戦しながらもなんとか無事にやり遂げることができてほっとしています。レースでは、勝つための戦略を考えて実行する力がまだまだ不足しているということを痛感しました。例えば、スタートでフレッシュを走るためにもっとこだわって位置取りを考えたり、決めたところから絶対に出るという気持ちでハンドリングの精度を高めたいです。

また、葉山でOBさんや他大学の方に助けていただく場面があり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。自分ももっと視野を広く持って、周りの人をサポートできるような余裕を身につけていきたいです。今後も応援よろしくお願い致します。

全女の所感

2回生/470クルー池田春菜



お世話になっております。

2回生470クルーの池田春菜です。

女子インカレに向け、6月から近藤とペアを組みました。

最初は完走できず悔しい思いもありましたが、今回は強風の中全レースを完走でき成長を感じました。

北風ではブローをつなぎ振れに合わせたタックなど基本は意識できましたが、オーバーの風では余裕をなくし動作やコース取りが乱れる課題がありました。ジブカットや波の上り下りなど細かな技術も習得していきたいです。

また遠征準備不足で他大学に迷惑をかけ、備品やセッティングの大切さを痛感しました。関西インカレでは練習通り冷静に走り、先輩に任せきりにせず情報共有やパワーコールで貢献したいです。

全女の所感

2回生/スナイプクルー池谷奈々



お世話になっております。

2回生スナイプクルーの池谷奈々です。

今回の全日本女子インカレは、ヨットには乗れませんでした。良い経験となりました。ヨットは男女混同というのが珍しく面白いスポーツであると思います。しかしながら、どうしても男子には体格、パワーで劣っていると感じる場面は多々あります。

そんな中、女子インでは10m/sを越える強風の中のレースも、陸での作業も全て女子だけでこなしており、同じ女子プレイヤーとして非常に勇気づけられました。全女に出ることは、これからの私の個人的なモチベーションです。また、最初から最後まで2回生ペアでやりきった同期2人が本当にかっこよかったです。

今回の遠征でOB・OG、コーチ、他大学の方にお世話になりました。ありがとうございました。

全女の所感

4回生/マネージャー西山凜



お世話になっております。

4回生マネージャーの西山凜です。

全日本女子インカレでは、これまでの大会とはまた違った多くの学びを得る時間となりました。2回生プレイヤーの2人が最後まで走りきる姿は頼もしく、これまでの成長を間近で見られたことを本当に嬉しく思います。

OBOGの皆様によく足を運んでいただき、支援や応援を通して安全に大会を終えられたことに心から感謝しています。

また、他大学の支援体制を直接見ることができ、マネージャーとしての視野をさらに広げることができました。積み降ろしなどさまざまな場面で手を貸していただき、本当にありがとうございました。

支えてくださる方々のおかげで、私たちは思いきり挑戦することができています。この経験を糧に、これからもチーム全員で挑戦を続け、関西インカレ両クラス突破を目指します！

2025年10月



神戸大学ヨット部 News Letter

